

**SYSTEM FOR ACQUIRING ELECTRONIC MAIL INFORMATION
CORRESPONDING TO CODE**

Patent Number: JP2002024149
Publication date: 2002-01-25
Inventor(s): MITSUI KENJIRO
Applicant(s): MITSUI KENJIRO
Requested Patent: ☐ JP2002024149
Application Number: JP20000241855 20000705
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F13/00; G06F17/30; H04L12/54; H04L12/58
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily acquire information by a portable telephone.

SOLUTION: Concerning this system capable of easily providing information by electronic mail utilizing the portable telephone, a preset code is contained in the account part, title part or text of electronic mail through the electronic mail function of a portable telephone (A) and this code is transmitted through the Internet (B) to a server (D) of a transmitting destination. Then, this server reads information corresponding to that code from a database (E) and sends the contents of the read information back to a transmitting source as electronic mail. By adopting such a system, information can be easily acquired from the portable telephone or the like.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-24149

(P2002-24149A)

(43) 公開日 平成14年1月25日 (2002.1.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード*(参考)
G 0 6 F 13/00	6 3 0	G 0 6 F 13/00	6 3 0 A 5 B 0 7 5
	6 0 5		6 0 5 E 5 K 0 3 0
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B
12/58			

審査請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-241855 (P2000-241855)

(22) 出願日 平成12年7月5日 (2000.7.5)

(71) 出願人 300054088

三井 謙次郎

東京都中央区新富2丁目4番12号

(72) 発明者 三井 謙次郎

東京都中央区新富2-4-12

(74) 代理人 100065466

弁理士 杉林 信義

Fターム(参考) 5B075 PQ05 UU24

5K030 GA17 HA06 HC01 HC09 JT09

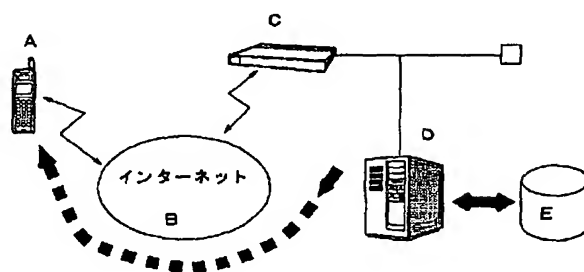
KA02 KA07 LE11

(54) 【発明の名称】 コード対応電子メール情報取得システム

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話による情報の取得を容易にする。

【解決手段】 本発明は、携帯電話を利用した電子メールにより情報が容易に得られるようにしたところに特徴を有するものである。携帯電話 (A) の電子メール機能を通じて予め設定してあるコードを電子メールのアカウント部分又は題名部分もしくは本文に含ませ、これらのコードをインターネット (B) を介して送信先のサーバー (D) へ送信する。すると、このサーバーがそのコードに対応した情報をデータベース (E) から読み取り、読み取った情報の内容を送信元へ電子メールとして送り返されるようにしてある。このシステムの採用により、携帯電話等から容易に情報を取得可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯電話の電子メール機能を通じて予め設定してあるコードを電子メールのアカウント部分又は題名部分もしくは本文に含ませ、

送信元から上記コードを、インターネットを介して送信先のサーバーへ送信するとこのサーバーがそのコードに対応した情報を読み取り、

上記読み取られた情報の内容を上記サーバーから上記送信元へ電子メールとして送返されるようにしてあることを特徴とするコード対応電子メール情報取得システム。 10

【請求項 2】 請求項 1 において、上記コードとそれに対応する情報は、予め定めてある特定の取り決めにしたがって対応可能としてあることを特徴とするコード対応電子メール情報取得システム。

【請求項 3】 請求項 1 又は請求項 2 において、上記コードは、屋外に設置してある広告媒体又は雑誌又は公共案内などに表示または印刷することにより、その媒体の補助情報を取得可能としてあることを特徴とするコード対応電子メール情報取得システム。

【請求項 4】 請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかにおいて、上記コードは、利用するコードとそれに対応する情報を予め設定してある特定のホームページで上記コードの発行や情報の登録を行うことができるようにしてあることを特徴とするコード対応電子メール情報取得システム。 20

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットに接続できる携帯端末の電子メール機能を用い、情報をコード化することによって、局所的にその情報を取り出す仕組みと、それを用いた情報システムとからなるコード対応電子メール情報取得システムに関するものである。 30

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】 従来のインターネットによる情報の取得は、WWWのWEBページによるものが主であり、その情報を取得する場合、英語表記のアドレス(URL)を入力して情報を取得している。これはコンピュータ上で動作するWEBブラウザもしくは、インターネットに接続できる携帯端末(携帯電話やPDAなど)も同様である。携帯電話に関しては、情報を取得するためには、メニュー形式により情報をカテゴライズすることにより取得し易くしたものもある。一方、電子メールは、情報取得と言う観点からはあまり使われておらず、現状では不特定多数より一方的に情報が送られてくる。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】 インターネットに接続できる携帯端末、特に携帯電話で情報を取得する場合、従来からあるWWWのWEBページのアドレス(URL)を入力することで、その情報を取得できる。しか 50

し、携帯電話は、本来は電話であるため、英語入力が困難であり、アドレスの入力が容易ではない。最近では、情報をメニュー形式で取得する仕組みが主流になっているが、情報の種類は各携帯電話会社で決められており、一般的な情報を取得することについては不都合はないが、これは自由度が低く、またメニュー形式で入力が容易になっているとは言え、目的とする情報に達するまでにそれなりの時間が必要である。なお、この時間は接続料金が課金されるので、接続時間の短縮化が求められることとなる。

【 0 0 0 4 】 上記したように、情報をWEBページで取得する場合、携帯電話は画面が狭いため、従来のWEBページそのものによったのでは表示が困難であり、ある特定の団体等で決められた記述言語(HDML、HTMLなど)に変換する作業が発生する。情報の取得は突発的に発生するものが多いが、予め準備できる情報であれば自宅にあるパソコンで取得可能である。しかし、屋外での情報の取得は、携帯電話の携帯端末としての機能が有効であり、携帯端末の使われ方としては、突発的に発生するものや必要な時に必要な情報を取得できることが本来のあるべき姿である。現在の携帯電話では、端末の指示に従って取得したい情報は端末にどのように入力するかを考えてから、又は予め取得したい情報が取り出せるアドレスを控えておくことにより初めて情報を取得可能となっているため不便である。

【 0 0 0 5 】 そこで本発明の目的は、現在の携帯電話すべてに普及している電子メール機能と情報のコード化及びその情報を発信するコード発信管理システムを用いて、現状の携帯電話での情報取得や、目的の情報を特定することを容易とし、特定の企業等に左右されない情報発信や情報取得ができるようにすることにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するために、本発明のコード対応電子メール情報取得システムは以下の手段を採用することにより以下の作用・効果を生じさせるようにしてある。

【 0 0 0 7 】 (請求項 1 に記載した発明の構成) 本発明のコード対応電子メール情報取得システムは、携帯電話の電子メール機能を通じて予め設定してあるコードを電子メールのアカウント部分又は題名部分もしくは本文に含ませ、上記のコードをインターネットへ送信すると送信先のサーバーがそのコードに対応した情報を読み取り、読み取られた情報の内容は送信元へ電子メールとして送り返されるようにしてある。

【 0 0 0 8 】 (請求項 1 に記載した発明の作用・効果) ユーザーが携帯電話のEメール機能を利用してある情報を得ようとする場合に、予め定めてある情報コードをシステムのサーバーに送信すると、これを受けたサーバーはこのコードに対応する情報をデータベースから取得し、これをユーザーに返送する。これにより、携帯電話 50

などの携帯端末から機種に依存することなく容易に情報を取得可能となる。

【0009】（請求項2に記載した発明の構成）請求項1において、情報コードとそれに対応する情報は、予め定めてある特定の取り決めにしたがって対応可能としてある。

【0010】（請求項2に記載した発明の作用・効果）コードとそれに対応する情報は、予め定めてある特定の取り決めに従って対応可能としてあるため、携帯端末で取り扱う情報に相応しく、覚えやすく、入力が容易かつ管理しやすいものとなる。

【0011】（請求項3に記載した発明の構成）このコード対応電子メール情報取得システムは、上記したコード（コードではなく、そのものを表すキーワード文字でも良い）を屋外にある広告媒体（看板、ポスター、電車の中吊り）、雑誌、公共案内（電車の路線図、地図）などに印刷または表示することで、その媒体の補助情報を提供取得としてある。

【0012】（請求項3に記載した発明の作用・効果）上記した情報のコードは、各種の広告媒体を利用して表示することによりユーザーのアクセスを容易にしてあるため、このシステムの利用が促進される。

【0013】（請求項4に記載した発明の構成）上記したコードは、利用するコードとそれに対応する情報を予め設定してある特定のホームページでコードの発行や情報の登録を行うことができるようにしてある。

【0014】（請求項4に記載した発明の作用・効果）上記の情報コードをインターネットのホームページでコードの発行や情報の登録を行うことができるようにすることにより、独自にコードや情報の作成ができるようにしてあるので、利用者の自由度や利便性が向上する。

【0015】

【発明の実施の形態】（システムの概要）本発明は、指定されたコードを電子メールに含ませて、コード対応電子メール情報取得システムを利用し、これをインターネットへ送信することによって、コード化された情報を取得可能としてあるところに特徴がある。

【0016】具体的には、サーバー（コンピュータ）に本発明に係るコード対応電子メール情報取得システムを設定し、このシステムに予め設定してあるコードに対する情報を取り出すことができる携帯電話の電子メール機能を用いて、又はこの電子メール機能の仕組みを応用して広告媒体（看板、ポスター、雑誌など）や公共情報（路線図や地図）の付加的情報を取り出し可能としたものである。

【0017】図1は、本発明に係るシステムを示すもので、携帯電話Aに対し電子メール機能を用いてインターネットBを通してメールサーバーDから情報を送受信している。メールサーバーD（コンピュータ）は、ルーターCを通して情報を授受可能となっている。これととも

にメールサーバーDは、情報を管理するデータベースEに蓄積されたデータを授受可能としてある。携帯電話Aは携帯端末以外の電子メールが利用できるコンピュータであっても適用可能である。

【0018】（作用）図2は、本システムのサーバー内における動作をフローチャートで示したものである。まず、携帯電話Aよりこのシステムへ電子メールを送信する。その際、決められた情報コード（数字）を電子メール作成時に指定し、このシステムの受付電子メールアドレスに送信する。コードの指定方法は、電子メールアドレスに埋め込む方法（例えば、このシステムの受付電子メールアドレスのドメイン名が“mail.com”であれば、“1234@mail.com”のようにアカウント部分に指定する）、または電子メールのSUBJECTに“1234”と指定して、受付電子メールアドレス（例えば、icord@mail.com）へ送信する方法もある。

【0019】送信された電子メールは、指定されたアドレスへインターネットBを経由し、サーバーDに受信される（S21）。この電子メールはコード対応電子メールシステムに届き電子メールアカウント部分もしくはサブジェクト（Subject）よりコードを取得する（S22）。システムは指定されたコードより、コード情報の検索をする（S23）。この検索により該当するコードをチェック（S24）した結果、それがあった場合には、その情報を取得し、取得した情報を電子メールとして送信された相手に返信する（S25）。

【0020】この結果、このシステムは、このコードに対応した情報をデータベースより取得し（S26）、再び電子メールにより送信元へこの情報を返信する（S27）。メール送信後この処理が終了する（S28）。

【0021】他方で、該当するコードのチェックを行い（S24）、該当するコードがなく、対応した情報がないとエラーとなるため、このエラーメールの送信元へ返信する（S29）。システムはこのメールを送信後、処理を終了する（S30）。

【0022】図3は、図1のコード対応電子メールシステムで管理するコードと、それに対応した情報を入力させるユーザーインターフェイス画面の例を示すものである。この画面には、画面の切り替え操作部31及びコードホスティング部32が設けてあり、このコードホスティング部には、コード発行処理ボタン33及びコード情報登録処理ボタン34が表示されている。携帯電話のユーザーAは、この画面によりコードの発行及び登録処理を行うのであるが、実際は、WEBブラウザを用いてシステムのサーバーに接続し、コード発行と情報入力ができるようになっている。

【0023】次に図4のフローチャートを用いてコードの発行及び登録処理の手順について説明する。まず、この発行手順は、同図（a）に示すように、ユーザーA（図

1 参照) が、コードの発行処理を行う (S 4 1) ために、上記のコード発行処理ボタン 3 3 (図 3 参照) を押して、コードの発行を申し込む (S 4 2)。ここでユーザー A は自己の個人情報を登録する (S 4 3)。サーバー D は、この申し込みを受けてユーザー A に対するコードを発行する。この時、同時にデータベース E にコードに対するレコードを作成する (S 4 4)

【0024】次に同図 (b) に示すように、コード情報登録処理を行う (S 4 6) ために、コード情報登録処理ボタン 2 4 (図 3 参照) を押すと、サーバー D は、登録済みコードを指定する (S 4 7) と、コードに対応するコード入力画面が表示されるので、コードに対する情報を入力する。入力完了後、この登録が行われる (S 4 8)。ここで入力された情報は、コードに対するデータベースのレコードに登録される (S 4 9)。

【0025】コードの生成方法は、シリアルナンバーを発行する方法もあるが、その情報コードに意味を付けるために、例えば登録情報に依存するコードを発行する。これは例えば、既存の電話番号と同じ仕組みを用い、登録者の住所が東京都 2 3 区内であれば、局番である 0 3 をつけるなどである。また、既存の電話番号は目的のものを特定できるため、これをそのまま利用してもよい。例えば、ある精肉店の電話番号が 3 3 3 1-2 2 2 2 の場合は、その精肉店の情報を取得する場合には、“3 3 3 1 2 2 2 2 @ma i l . c o m” へメールを送信すれば、情報を取得することができる。

【0026】一方、目的の情報を特定するまでに、1 つの情報だけではなく、複数の情報の組み合わせとすることがある。その場合はカテゴリで分けたコード体系にすればよい。例えば、“東京->0 1、大阪->0 2、新幹線->0 0 1” などとし、これらのコードを組み合わせで“0 1-0 2-0 0 1” などとする。さらに、このカテゴリ分けコードは、登録者が組み合わせを自由に設定できる機能を設けることによりコード生成に柔軟性を持たせることができる。なお、このコードは、情報そのものを表すキーワード文字であってもよい。

【0027】次にこのシステムを使った応用例を示す。図 5 はこの仕組みを広告媒体 (ポスター) に利用した例である。このように広告の付加情報としてこの仕組みで情報を取得できるメールアドレスを掲載することで、ホームページと並ぶ情報取得手段を提供できる。このような付加情報は、広告媒体に限らず紙媒体であれば、同様なコードを掲載するだけで、手軽な補助情報取得手段を提供できる。

【0028】図 6 は、公共情報でコードを利用した例である。電車の路線マップにコードが書いてあり、自分が現在いる駅のコードと行き先の駅のコードとを入力することによりその経路情報が取得できる。また、これを道路の案内板に利用すれば、道路の渋滞情報などを手軽に取得することができる。

【0029】(本発明の作用・効果) 本発明によれば、コード対応電子メール情報取得システムは、既存の携帯電話からの使用を考え、取得したい情報をコード化することで、携帯電話への入力作業が容易となる。

【0030】本発明は、コード対応電子メール情報取得システムは、携帯電話に独自に備えてある機能を利用するのではなく、インターネットで利用している電子メールを利用するものであるため、このシステムは機種に依存せず、既存の電子メールサービスを行っているすべての携帯電話での利用が容易になる。さらにこのシステムはこの他、電子メールが利用できるパソコンや他の携帯端末でも利用できる。

【0031】本発明は、指定する情報をコード化することにより、情報をこれまで扱っていた電話番号のように覚えやすく、伝達容易かつ管理しやすいものとなる。アカウント部分にコードを指定できるコード対応電子メール情報取得システムは、一旦情報取得のために入力した電子メールアドレスを携帯電話のアドレス帳に保存でき、コードとその取得できる情報を管理しやすくなるとともに、携帯電話の入力の困難さを解消できる。

【0032】本発明は、携帯電話及びこのシステムを利用して、屋外にある広告媒体 (看板、ポスター、電車の中吊り)、雑誌、公共案内 (電車の路線図、地図) など、その媒体を特定するコードを含んだメールアドレス (1 2 3 4 @ma i l . c o m) 又はそれを表すキーワード文字列 (mo v i e @ma i l . c o m) を印刷または表示することにより、いつでも携帯し、さらに情報を簡単に得られることから、簡易補助情報の取得方法として利用することができる。

【0033】コード体系は、数字とキーワード文字列の両方を利用でき、数字の場合は、郵便番号のように目的をピンポイントで指定できる体系になっている。また、既存の電話番号を情報取得のコードとすれば、新たなコードとその目的情報の結び付きを記憶することなく、安易に利用することができる。そして情報コードが数字とし不向きな場合は、キーワード文字列も利用できることで、このシステムの応用範囲がさらに広がる。このシステムの利用者は、コードを管理するホームページを用いて、独自にコードや情報を作成することができるので利用者の自由度や利便性を向上させることができる。

【0034】

【発明の効果】本発明によれば、コード対応電子メール情報取得システムは、情報取得のための既存の携帯電話からの使用を考え、取得したい情報をコード化することで、携帯電話への入力作業が容易となる。

【0035】コード対応電子メール情報取得システムは、携帯電話に独自に備えている機能を利用するのではなく、インターネットで利用している電子メールを利用するものであるため、このシステムは、機種に依存せず、既存の電子メールサービスを行っているすべての携

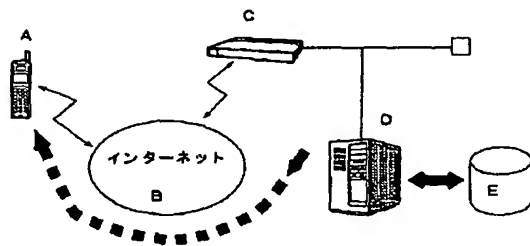
携帯電話での利用が容易にできるようになる。さらに本発明は、電子メールが利用できるパソコンや他の携帯端末でも利用できる利点がある。

【0036】また、指定する情報をコード化することにより、情報の取得がこれまで扱っていた電話番号のように覚えやすいものとなるほか、情報の伝達が容易かつ管理しやすいものとしてすることができる。

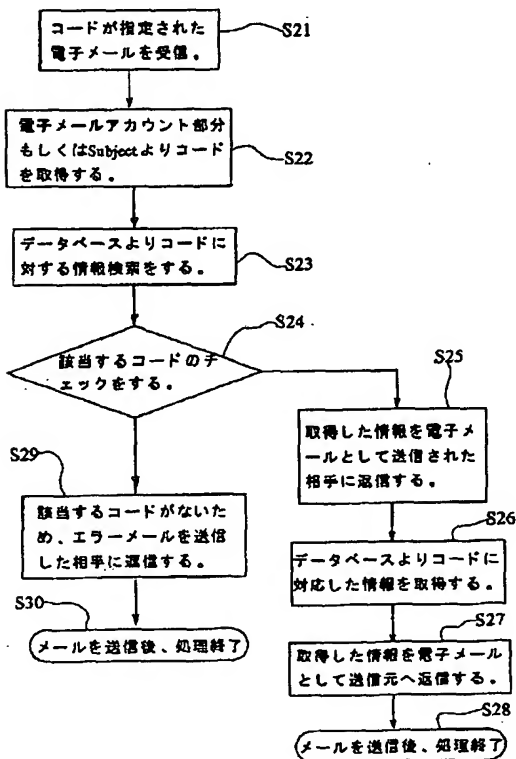
【0037】さらにアカウント部分にコードを指定できるコード対応電子メール情報取得システムは、一旦情報取得のために入力した電子メールアドレスを携帯電話のアドレス帳に保存できるので、コードとその取得できる情報を管理しやすく、また携帯電話の入力の困難さを解消できる

【図面の簡単な説明】

【図1】



【図2】



【図1】本発明のシステム構成例を示す説明図である。

【図2】本発明による情報取得の過程を示す流れ図である。

【図3】コード入力のインターフェースを示す説明図である。

【図4】コード入力の処理過程を示す流れ図である。

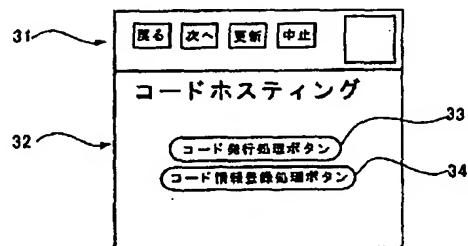
【図5】補助情報提供例を示す説明図である。

【図6】コード情報の組み合わせ例を示す説明図である。

【符号の説明】

- A 携帯端末（携帯電話）
- B インターネット
- D サーバ
- E データベース

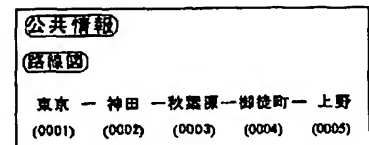
【図3】



【図5】

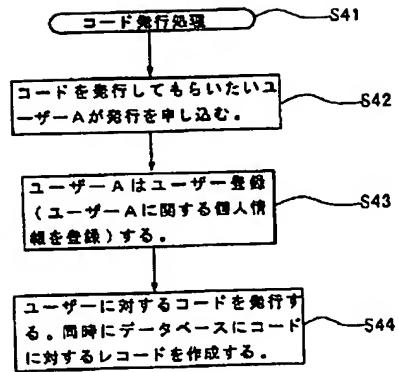


【図6】



【図 4】

(a)



(b)

